

令和 2 年度

「運営に関する計画」

大阪市立大正東中学校

令和 2 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

「全国学力・学習状況調査」「全国運動能力・運動習慣等調査」の結果等から、学力については、基礎基本の定着、思考力・表現力の育成、自主学習への取り組みに課題がみられる。道徳性・社会性については、防災意識や人権感覚の育成に一定の成果が見られるが、規範意識や自尊感情には課題が残る。健康・体力の保持増進についても、朝食の喫食率や薬物乱用に対する問題意識の育成に成果が見られるが、体力の向上や、健康な生活習慣に対する意識には課題が残る。

開かれた学校づくりの一つの柱として活用している、学校ホームページの閲覧数は市内でも上位になっているが、学校行事や部活動にかかる記事をよりきめ細かく掲載することによって、閲覧数の増加を図りたい。

校長経営戦略支援予算によりICT教育環境の整備が昨年度かなり成果を上げ、ICT教育の取り組みが充実しているが、今年度は整備をより進め、あらゆる教育機会でのICT機材の活用ができる環境を作る。

防災教育を、より進め地域や近隣の保育所とも合同の訓練を企画する。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙の結果から、卒業までに規範意識が身についたと認められる生徒の割合を、全国平均に近づける。
- 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙の結果から、卒業までに自尊感情が身についたと認められる生徒の割合を、全国平均に近づける。
- 「校内調査」などの結果から、卒業までに安全生活や防災に対する行動の仕方が身についたと認められる生徒の割合を、80%にする。
- 地域学校間の「防災・災害発生時連携システム」を確立する。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」「チャレンジテスト」などの結果から、卒業までに基礎的・基本的な学習内容が定着したと認められる生徒の割合を、大阪市平均に近づける。
- 「全国学力・学習状況調査」「チャレンジテスト」などの結果から、卒業までに思考力・表現力が身についたと認められる生徒の割合を、大阪市平均に近づける。
- 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果の体力テストの各項目のうち過半数について全国平均に近づける。
- 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙などの結果から、卒業までに健康な生活習慣が身についたと認められる生徒の割合を、全国平均に近づける。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

○令和２年度末の「校内調査」において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を９５％以上にする。

○「校内調査」における『学校のきまり・規則を守っていますか』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を８０％にする。

○令和２年度末の「校内調査」において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。

○令和２年度末の「校内調査」において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

○区役所担当者や消防署と連携して、南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、学校施設を避難所として整備するとともに、地域を巻き込んだ防災研修をなお一層充実した形で実践する。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○令和２年度の「中学生チャレンジテスト」における対府平均比を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より向上させる。

○令和２年度の「中学生チャレンジテスト」における得点が府平均の７割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より１.５ポイント減少させる。

○令和２年度の「中学生チャレンジテスト」における得点が府平均を２割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より１.５ポイント増加させる。

○令和２年度の「校内調査」における『学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか』に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度（７６％）より増加させる。

○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、３つ以上の項目で昨年度のデータを１ポイント以上上回らせる。

学校の年度目標

○ＩＣＴ教育の充実を図るため、校内の必要な教室すべてにプロジェクターの設置を完了させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立大正東中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 全市共通目標 ○令和 2 年度末の「校内調査」において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。 ○「校内調査」における『学校のきまり・規則を守っていますか』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を 80%にする。 ○令和 2 年度末の「校内調査」において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。 ○令和 2 年度末の「校内調査」において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 学校の年度目標 ○区役所担当者や消防署と連携して、南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、学校施設を避難所として整備するとともに、地域を巻き込んだ防災研修をなお一層充実したものにし実践する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【施策 2、道徳教育の推進】 公共の精神や社会規範を尊重する意識や態度を育成する取り組みを、道徳の時間を要として、各教科や総合的な学習の時間など教育活動全体で取り組む。 (道徳教育推進教師、生活指導部) 指標 令和 2 年度の「全国学力・学習状況調査」における『学校の規則を守っていますか』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を 75%にする。	
取組内容②【施策 2、人権を尊重する教育の推進】 様々な教育活動や体験的な活動を通して、自分自身をかけがえのない存在とする自己肯定感情を育成する取り組みを実践する。 (教務部) 指標 「校内調査」の結果で、『自分にはよいところがある。』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を、70%以上にする。	
取組内容③【施策 1、いじめ・問題行動に対応する制度の活用】 『学校安心ルール』を生徒・保護者に周知し、学校の実情に応じて活用する。 (生活指導部) 指標 令和 2 年度末の「校内調査」において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を 0 人にする。(昨年度 9 名)	

取組内容④【施策1、防災・減災教育の推進】 地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、日常の備えや的確な判断のもと、進んで活動できる態度を育成する取り組みを、関連する教科や道徳、総合的な学習の時間、特別活動などを通じて取り組む。 (健康教育部) 指標 「校内調査」の結果で、『震災・火災などの災害や事件・事故の発生時に身を守るための対処法がわかっている。』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を、75%以上にする。	
取組内容⑤【施策8、学校施設の老朽化への対応】 市教委の施設整備課にお願いし、生徒の活動のベースとなる本館3階の教室の整備を図り、生徒のけがの防止を図る。 (管理職) 指標 体育館扉、本館3階普通教室の床を改修する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑥【施策1、いじめ、問題行動に対応する制度の活用】 教育相談、ケース会議を充実させるとともに、悪質な事案は警察等関係機関に通告し連携して指導を行う。また、いじめ対策委員会を定期的に関き、いじめの未然防止、拡大防止につなげる。 (いじめ対策委員会・生活指導部) 指標 今年度のいじめの解消率を95%以上にする。	
取組内容⑦【施策1、安全教育の推進】 警察と連携した交通安全教室を実施し(3月予定)、交通マナーを遵守する姿勢を身につけさせる。 (生活指導部) 指標 実施後にアンケートを取り、十分理解したとの肯定的回答を80%にする。	
取組内容⑧【施策1、防災・減災教育の推進】 教科、学年等あらゆる機会に危機管理について啓発を行う。自然災害から身を守り、主体的に判断し、危険を回避する力を身につけられるように、火災と津波を想定した避難訓練を実施する。 (健康教育部) 指標 「校内調査」の『震災・火災などの災害や事件・事故の発生時に身を守るための対処法がわかっている』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を、75%にする。	

取組内容⑨【施策３、保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】 震災発生時の対応に備え、備蓄倉庫や避難場所に使用する教室等を区役所と連携して整備し、防災訓練への地域の参加を要請する。 (健康教育部・管理職)	
指標 上記内容が実践できているか。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑩【施策２、道徳教育の推進】 プロの実演、競技を鑑賞したり実際に体験すること、また美術館など文化的、芸術的施設の見学により、本物の技術・芸術の素晴らしさを知る。また、正しい鑑賞の仕方やマナーを学ぶ。 (教務部)	
指標 芸術鑑賞会を年に１回以上行えるようにし、生徒の感性を高める。	
取組内容⑪【施策２、道徳教育の推進】 道徳の授業を活用し、自分をかけがえない存在と認めると同時に他者もまた同様であるという心を育て、自他ともに認めあえる教育活動を実施する。 (道徳教育推進教師、学年)	
指標 「校内調査」の『自分には良いところがある』の項目について『当てはまる(どちらかといえば当てはまる)』と答える生徒の割合を、６０％にする。	
取組内容⑫【施策２、キャリア教育の充実】 職業体験等を計画的に実施し、職業観を持たせるとともに、社会性・公共性を育む。 (進路指導主事・(2年生))	
指標 「キャリア教育アンケート」で、『あなたにとって、キャリア教育は有意義でしたか。』の設問における回答で、『とてもそう思う』、『そう思う』の回答率を６０％以上にする。	
取組内容⑬【施策２、インクルーシブ教育システムの充実と推進】 各行事を通じて共に学ぶ意識を高め、協調性、積極性、ルールやマナー等の習得を目指す。 (特別支援教育コーディネーター)	
指標 各学校行事や特別支援学級での行事に参加し、社会性を身につけさせる。	

取組内容⑭【施策番号2、人権を尊重する教育の推進】 様々な人権教育の課題を取り上げ、社会人として通用する人材を育成する。 (人権担当者、学年)	
指標 「校内調査」の『社会のルールや人権の大切さについて学ぶ機会がある』の項目について『当てはまる(どちらかといえば当てはまる)』と答える生徒の割合を、70%にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立大正東中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標 (小・中学校) ○令和 2 年度の「中学生チャレンジテスト」における対府平均比を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より向上させる。 ○令和 2 年度の「中学生チャレンジテスト」における得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より 1.5 ポイント減少させる。 ○令和 2 年度の「中学生チャレンジテスト」における得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年でも前年度より 1.5 ポイント増加させる。 ○令和 2 年度の「校内調査」における『学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか』に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。 ○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、3 つ以上の項目で昨年度のデータを 1 ポイント以上上回らせる。 学校の年度目標 ○ICT教育の充実を図るため、校内の必要な教室すべてにプロジェクターの設置を完了させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策 5、子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取り組み】 基礎的・基本的な知識及び技能の習得、定着に向けた取り組みを、実施計画に基づき全ての教科で実施する。(教務部) 指標 令和 2 年度の「チャレンジテスト」における府平均との差を、各教科前年度より向上させる。	
取組内容②【施策 5、子ども一人一人の状況に応じた学力向上への取り組み】 読解・記述・表現などコミュニケーション能力の育成に向けた取り組みを実施計画に基づき各教科、道徳、総合的な学習の時間において実施する。(教務部) 指標 令和 2 年度の「校内調査」における『学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。』の項目について『当てはまる (どちらかといえば当てはまる)』と答える生徒の割合を、70%以上にする。	
取組内容③【施策 7、健康や体力を保持増進する力の育成】 関連する教科や部活動、特別活動や学校行事などを通じて、体力の向上を目指し	

た取り組みを、実施計画に従って取り組む。	(保健体育科)	
指標 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、3 つ以上の項目で全国平均を上回らせる。		

取組内容④【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】 関連する教科や総合的な学習の時間、特別活動等を通じて、健康に関する指導を実施するとともに、感染症予防のための日常指導や薬物乱用や環境問題など現代的な課題についての正しい知識が身につくような取り組みを行う。	(健康教育部)	
指標 「校内調査」の結果で、『健康に関する意識が高まった。』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を、65%以上にする。		
取組内容⑤【施策6、ICTを活用した教育の推進】 ICT教育の充実を図るため、必要とするすべての教室へのプロジェクター設置を完了させる。	(管理職)	
指標 必要な教室すべてにプロジェクターが設置されたか。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容⑥【施策5、学校力UPベース事業】 加配教員を活用して、基礎基本の学力の一層の修得を図る。	(国数英理)
指標 「校内調査」の『授業で基本的な内容は理解できている』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を、70%にする	
取組内容⑦【施策5、全市共通テストの導入】 教科毎に工夫し、「チャレンジテスト」の結果を大阪市平均に近づける。	(国数英理社)
指標 「校内調査」の『授業で基本的な内容は理解できている』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を、70%にする	
取組内容⑧【施策5、その他】 実技・実習の授業に真剣に取り組む姿勢を身につけさせる。	(音美技家体)

指標 「校内調査」の『実習授業にしっかりと取り組んでいる』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を、60%にする	
取組内容⑨【施策5、全市共通テストの導入】 各学年において朝学活や特活を活用し、基礎基本の学力の補充を図る。（学年）	
指標 「チャレンジテスト」の結果を大阪市平均に近づける。	
取組内容⑩【施策6、多文化共生教育の推進】 特別支援学級主催で、邦画後の取り組みを実施し、帰国した生徒の日本語習得のための支援を行う。（特別支援学級担当）	
指標 週2回の実施ができたか。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

取組内容⑪【施策6、ICTを活用した教育の推進】 年間を通して、タブレットやプロジェクターを使用した授業計画を立て、実施していく。（全教科）	
指標 指導計画に位置付け、計画的にICTを活用した授業を行ったか。	
取組内容⑫【施策6、英語教育の強化】 英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションの育成を図る。（英語科）	
指標 教科独自のアンケートで「積極的に英語でコミュニケーションを図りたい」と回答する生徒を75%以上にする。	
取組内容⑬【施策5、主体的・対話的で深い学びの推進】 各教科の授業において、班活動を推進し一人一人が活動に参加できる素地を築く。（学年）	
指標 「校内調査」の『学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。』の項目について『当てはまる（どちらかといえば当てはまる）』と答える生徒の割合を、70%以上にする。	
取組内容⑭【施策8、若手教員の指導力向上と校内研修の支援】 授業力を向上させるため、研修・授業研究を計画的に実施する。（OJT研修担当）	
指標 全教員一回の研究授業と、OJT事業の活用	

取り組み内容⑮【施策 8、大学連携の推進】 大学と連携しインターンシップを積極的に受け入れて、将来の教員となる人材の育成を図る。(管理職) 指標 卒業生対象の教育実習とは別に、大教大や大阪成蹊大学と連携した現場実習を受け入れたか。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

取組内容⑯【施策 7、健康に関する現代的な課題への対応】 毎週 1 回学年集会を実施し、規則正しい生活習慣を身につけ体力向上へつなげていく。(学年) 指標 集会の遅刻者を全体の 1 割以下になるようにする。	
取組内容⑰【施策 7、子どもの体力・運動能力向上のための取り組みの充実】 学級ボールを貸し出し、昼休みの運動場での活動を活性化する。(学年) 指標 学級ボール活用体験者の割合を 30%以上にする。	
取組内容⑱【施策 7、健康に関する現代的な課題への対応】 薬物についての学習を各学年の成長段階に応じて、総合・特活を利用して行う。(学年、生活指導部) 指標 学習後に「生徒にアンケート」を実施し、『薬物による健康被害について理解した』という肯定的回答が 90%になるようにする。	
取組内容⑲【施策 7、食育の推進】 家庭科と連携し、栄養バランスやアレルギー、生活習慣病などについて理解させる。(健康教育部、家庭科) 指標 「校内調査」の『健康に関する意識が高まった、朝食を毎日食べている』の項目について『当てはまる(どちらかといえば当てはまる)』と答える生徒の割合を、75%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	